2014年4月1日　アクセス　（1976年11月10日第三種郵便物認可）　第447号

地方小出版 情報誌 アクセス

毎月1回　1日発行
購読料　定価150円
（本体139円）
年間1,500円（税込み）
振替　00120-0-19017

発行所　㈱地方・小出版流通センター　〒162-0836　東京都新宿区南町20
編集　アクセス編集委員会　TEL.03-3260-0355　FAX.03-3235-6182

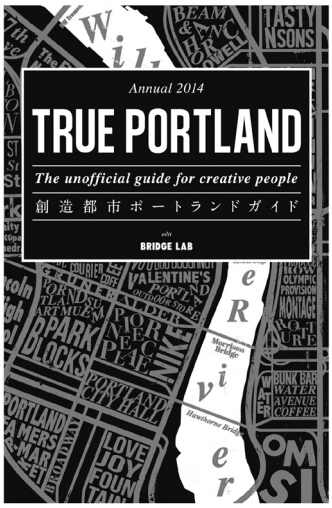
日本初！オレゴン州ポートランドの専門ガイド「TRUE PORTLAND」

☆★☆

文・岡島悦代

全米で住みたい都市No1.と言われるアメリカ北西部に位置するオレゴン州ポートランド（人口約60万人）に日本からも注目が集まっています。この本の発売元であるメディアサーフコミュニケーションズ株式会社は、3年ほど前から社員旅行でポートランドを訪問しており、街の創造性について着目してきました。今回、貴重な誌面を頂く機会に恵まれましたので、「TRUE PORTLAND」を製作した経緯や、どのように本を使いこなして頂きたいかご紹介致します。

昨年の後半から日本でも各種メディアでポートランドが取り上げられる機会が増えているのを実感しております。毎週約400人が移住してくるというこの街の魅力は一体何なのか？　先見性を持ったユニークな都市開発や住民が自発的に参加しやすい自治運営組織など日本の業界の関係者たちも話題にしているようですが、私たちは“都市を形成しているのは人であり、魅力的な街をつくっているのは1人1人の創造性”であることに注目し、街を面白くしている420件以上のスポットを10の動詞で分類しました。



定価（本体1,524円＋税）／ISBN978-4-9907396-1-4／2014年1月10日　第1刷発行／発行人：黒﨑輝男／発行元：BRIDGE LAB／発売元：メディアサーフコミュニケーションズ株式会社

本を使い倒してこそ体験できる、真実のポートランド

本書は「自由に旅する」楽しさに目覚め、自分の価値観で旅を組み立ててもらえるように編集の際は気を配りました。決まりきった予定をそつなくこなすより、回り道をしてでも、自分の価値観で探し当てた「コレだ！」思えるものに出会って欲しいのです。カテゴリ別にいくつか例を挙げます。

「EAT（食べる）」

都心から20キロにあるオーガニック農園、生産者と消費者を結ぶ40ものファーマーズマーケット。駐車場にキッチンカーを停車させ飲食業をしていているフードカート文化、人気のフードカートから路面店にステップアップした店舗が何軒もあります。薪釜でしか調理しないレストラン、地産地消型のアイスクリーム店、ホルモン剤不使用の素材を使った環境にやさしいピザ屋さん、など。「美食の街」と呼ばれる理由は、オーガニック野菜や高品質な畜産物を求め、ニューヨークなどの大都市から腕利きのシェフが移住し、食文化の底上げに貢献しているからでしょう。

「DRINK（飲む）」

コーヒー豆の生産者と直接取引をし、高品質な豆と味を追求するサードウエーブコーヒー店がいくつもあります。自転車で配達できるエリアにしかコーヒー豆を配達しないと決めている店。「ビール天国」と呼ばれブルワリーの数はベルギーよりも多いクラフトビール文化。街中で蒸留酒やワイン造りをしており、アーバン・ワイナリーでは住宅街の近くで出来たてのワインを食事と一緒に楽しめます。世界的にもピノ・ノワールの重要な生産地として有名になったウィラメットバレーなど。

「GET INSPIRED（感化される）」

ポートランドには沢山のアーティストが住んでおり、ギャラリーや美術館が多くあります。アーティストの活動支援をNPO法人などが積極的に行っています。作品を多くの人々に知ってもらうために「ファースト・サーズデー」や「ラスト・サーズデー」といった誰でも気軽に参加できるイベントが定期的に行われています。

「LISTEN（聞く）」

レコード店やカセットテープレーベルなど、アナログな質感を大切にしながら音楽に触れあう文化があります。毎日何処かでライブが開催されており、$10～20で楽しむことが出来きます。夏には野外音楽フェスティバルが開催され、インディーズロックやジャズ、ダンスミュージックなどあらゆる音楽ファンの好奇心を満たしてくれます。

「RUN（走る）」

スポーツメーカーのNIKE本社や、

adidasの北米本部がポートランド近郊にあります。自然を多く残した公園が多く、ランニングコースが豊富なので汗を流している人を多く見つけることが出来るでしょう。自転車専用レーンがある道路は、環境やさしい街として高い評価を受けています。ハイキング道を走るトレイルランが人気。NBAのトレイルブレイザーズやMSLのティンバースは地元の人々に愛され、試合日にはスポーツバーに人が溢れます。

「MAKE（つくる）」

理想のものが見つからないなら作ってしまえ、というDIY精神はポートランドらしさの一つ。クラフトマンシップ溢れる家具や革製品、140年以上続く毛織会社。活版印刷の工房や木工や金属加工の機械や3Dプリンターを備えた工房はメンバーシップ制で誰でも利用できます。2週間あればフレームから自分だけの自転車をつくる学校に入学することも可能です。

「DIG（掘る）」

最新のファッションを追いかけるより、自分の価値観で選び抜いた古着でコーディネートし、アンティークの掘り出し物を組み合わせて部屋を飾るのがポートランド流。お金の使い方にセンスが表れるのを知っている人たち。マーケットに行くと「これ売り物？」と驚くようなものもあるけれど、新たな出会いが創造性を刺激してくれることでしょう。

「THINK（思考する）」

ニューヨークに次いで図書館の貸出率が高く、本好きが多い街。個人経営の書店が住民に支持されています。中でもパウエルブックストアは観光名所となっており、拡張を重ねて出来上がった店舗はいつの間にか1ブロックを占拠するほどに。

市内にある公園の多くは、持続可能な都市にするために、意図的に自然環境を残す目的で作られています。ポートランド州立大学内で行われているファーマーズマーケットは環境と生活と学びを有機的に結びつけており、自然と共に生きていることを考えさせてくれます。

「LOVE（愛する）」

ポートランドにはスケーター専用レーンがあり、街中をスケートボードで移動できます。市公認のスケートボードパークが19もあるのです。地元でビジネスをしているオーナーが市職員と掛け合い、スケボーカルチャーを認めてもらえるようになったことがきっかけ。

カミングアウトしたゲイの市長が誕生した街でLGBTQ（レズ・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー・クイア）と呼ばれる性的マイノリティーの人たちにも理解があり、ストリップバーの数が人口比に対して一番多いなど表現することに愛を持って見守る空気が流れています。

「SLEEP（寝る）」

2006年にオープンしたACEホテルは一躍ポートランドの顔となり、世界中のクリエイティブ層に大きなインパクトを与えました。一部屋ずつ異なるアーティストに絵を描かせ、地元の産業と協力してポートランドのシンボルマークである鹿入りの毛布を導入したりしました。ACEホテルはリノベーションをして生まれ変わりましたが、以前はドラッグディーラーや売春婦がいるような場末のホテルだったのをクリエイティブなアイデアで見事に変身させました。

他にも小学校を改装し、大人が楽しめるブルワリー付きのホテルや、ニクソン大統領がチェッカーズスピーチの原稿を書き上げた由緒正しきホテルもあります。

その他にもさまざまなカルチャーシーンのキーパーソンに寄稿してもらい現象を洞察しながら、ポートランドでお奨めの過ごし方を掲載しています。

豊かな時間を過ごすライフスタイル

アメリカの一地方都市のガイドブックを作成したことは現地の方にも不思議がられます。しかし、ポートランドの都市と自然のバランスの良さや、地元のビジネスを応援する姿勢、企業を誘致して雇用を創出するのではなく、クリエイティブな才能を持った人々を集め、スモールスタートをはじめる選択肢が多いことなど、これからの日本に活路を見出せるようなアイデアが溢れています。

日本でも経済の成熟期を迎え、消費で心を満たすのではなく、豊かな時間を過ごすライフスタイルの参考になるでしょう。限りある資源を大切にする気持ちを忘れず、サスティナブルで身の丈に合った上質な暮らしをポートランドの人々は実践しているのです。

（おかじまえつよ／TRUE PORTLAND編集）　同誌URL：http://truepdx.com/

新刊ダイジェスト

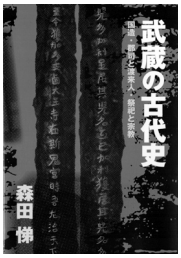
※価格は税込（消費税率8%）表示です。

『津波、写真、それから』●高橋宗正著

東日本大震災から数日が過ぎたある時、写真家の高橋宗正は思う。自分がずっと学んで仕事にもしてきた写真が、いざという時にこんなにも役に立たないなんて、ずいぶん無駄に生きてしまったものだ、と。しかし、回ってきたツイートをきっかけにして、津波で流された写真を持ち主に返す活動に関わることになった。一枚一枚を丁寧に洗い、カメラで複写、データ化していく。途中で、ダメージがひどい写真をどうするかが問題になった。これがLOST&FOUND PROJECTのきっかけになり、これらの写真たちは4ヶ国7都市を巡っていくことになる。誰が写っているかもわからないスナップ写真の数々が本書にも収録されている。見る人の心を打たずにはいないだろう。

◆2808・円・345mm×250mm判・143頁・**赤々舎**・東京・20140214刊・ISBN978-4-86541-012-9

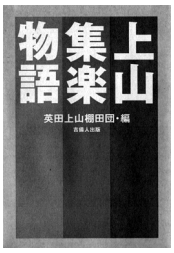
『武蔵の古代史　－国造・郡司と渡来人・祭祀と宗教』●森田　悌著



古代史というと、大和政権を中心に据えて畿内を中心に語られることが多いもの。しかし本書は『武蔵の古代史』と銘打って、古代の武蔵国の姿を描いている。中央で物部氏が失脚すれば物部系の人々は衰退し、政権の意向で渡来人の入部が行われ、対蝦夷の最前線で様々な負担を押し付けられる…、中央との繋がりは武蔵の政治状況にも大きな影響を与えずにはおかない。しかし、それだけではない。平安時代に従来の体制が綻びだし、豪族たちが発展してゆくという社会の変化は、武蔵の人々の力強さも感じさせる。本書には華やかな政治・文化で彩られた中央の歴史とは異なる、地方の古代の世界が広がっている。

◆3024円・A５判・304頁・**さきたま出版会**・埼玉・2013/11刊・ISBN978-4-87891-402-7

『上山集楽物語　－限界集落を超えて』●英田上山棚田団出版プロジェクト・チーム編著



集落ではなく集楽。“楽しい事は正しい事”をモットーにする岡山県美作市の英田上山棚田団。過疎化により8300枚もの棚田が耕作放棄地となっていたが、新しい力で再生され、今やメリーライスというブランド米が誕生するまでになった。本書は2011年に発行された『愛だ！上山棚田団』の続編で、その後の活動を物語風に伝える。まさに限界集落だった地区にひょんなことから都会人がやって来て、地元のお年寄りに徐々に溶け込み、夏祭りをも復活させ、子どもたちの笑顔を乗せた凧を飛ばす。フェイスブックなどを活用し、日本各地、さらにアジアにもネットワークは広がっている。日本の未来に希望をつなぐ草の根プロジェクトがここにある。

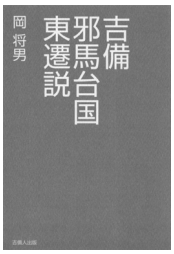
◆1620円・四六判・265頁・**吉備人出版**・岡山・2013/12刊・ISBN978-4-86069-374-9

『土地と霊魂』●王幼華著／石其琳訳

英国東印度会社の船長であった探検家が台湾沖で座礁、そのまま現地に残り、先住民女性と結ばれて山林開発し楽土建設を志すが、台湾支配を目論む漢人の弾圧に遭い、悲惨な最後を遂げる。清代同治年間（1862-74）にあった外夷侵墾大南澳事件を基にした歴史小説である。著者は作家であると共に、大学で歴史・社会文化史を講ずる研究者である。台湾は多民族国家であったが、オランダ統治、清朝支配、日本の植民地、国民政府時代と複雑な歴史をもち、先住民は常に社会の最下層を強いられてきた。誰が台湾の主人で、本当に土地所有できるのか、書名に込められたメッセージである。巻末に付された著者の歴史論考が理解を深めてくれる。

◆2808円・四六判・296頁・**中国書店**・福岡・2014/2刊・ISBN978-4-903316-35-2

『吉備邪馬台国東遷説』●岡　将男著



邪馬台国の所在は江戸時代以来、大和説、九州の山門郡など三説、そこに、邪馬壹論も加わり、現代に到って論争が続いている。在野の研究も盛んで、山陰説、近江説など諸説繚乱である。生地岡山で長年経営者、市民運動家として活動し、「新邪馬台国サミット」のコディネータも務めた著者は、『魏志倭人伝』、『晋書』、朝鮮の『三国史記』、『古事記』に近年の考古学的知見、さらに桃太郎伝説などを踏まえて吉備説を掲げ、大和に攻められて卑弥呼自死後に後継者の臺與が東遷、即ち大和に移り、箸墓古墳に葬られたと主張する。著者も認めるように、絶対的な実証史料がないだけに推論の域を出ないが、古代史研究に一石を投じたものといえよう。

◆1728円・四六判・249頁・**吉備人出版**・岡山・2014/11刊・ISBN978-4-86069-372-5

地方小出版流通センター　ジャンル別 新刊案内

2014年2月1日～28日
流通センター着

※各ジャンル内での出版社名は所在地の北から南の順に並んでいます。

価格は税込（消費税率8%）表示です。

【雑誌】

◆GREEN　REPORT　410
廣瀬　仁編　A４　192頁
２８８０円　地域環境ネット　［埼玉］
978-4-905457-42-8　14/02

◆**ママともぷらす　東京ベイ・千葉版**　No．５７　市川　恵美子編　A

売行良好書

期間：2014年2月16日～3月15日

［出荷センター扱い］ ※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『デザインマンホール１００選』1836円・アットワークス　(2)『しあわせの１３粒』1080円・オフィスＥＭＵ　(3)『つるかめ食堂』1512円・ベターホーム出版局　(4)『食は薬なり』1296円・金壽堂出版　(5)『不登校は１日３分の働きかけで９９％解決する』864円・リーブル出版　(6)『フィールドガイド　日本の野鳥　増補改訂版』3672円・日本野鳥の会　(7)『謎の独立国家ソマリランド』2376円・本の雑誌社　(8)『フーリエの冒険　新装改訂版』3780円・言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ　(9)『花のつくりのおもしろさ』1080円・トンボ出版　(10)『未来ちゃん』2160円・ナナロク社　(11)『罠師　片桐邦雄』1728円・鉱脈社　(12)『鬼とあんころもち』1080円・小澤昔ばなし研究所　(13)『もやし屋』1836円・無明舎出版

［三省堂書店神保町本店　センター扱い図書］ ※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『東京かわら版　３月号』432円・東京かわら版　(2)『定食と古本ゴールド』1620円・本の雑誌社　(3)『謎の独立国家ソマリランド』2376円・本の雑誌社　(4)『乙女の読書道』1620円・本の雑誌社　(5)『捨てる女』1728円・本の雑誌社　(6)『ｎｏｂｏｄｙ　ＩＳＳＵＥ４０』1296円・ｎｏｂｏｄｙ編集部　(7)『素数のまとめノート』216円・暗黒通信団　(8)『中学生の正しい勉強法　改訂版』1296円・瀬谷出版　(9)『昭和プロレスマガジン　３１』1028円・昭和プロレス研究室　(10)『特定秘密保護法を読む』700円・北海道新聞社

［ジュンク堂書店池袋店　地方出版社の本―センター扱い図書］ ※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『ペコロスの母に会いに行く』1260円・西日本新聞社　(2)『古墳時代前期の王墓』1890円・サンライズ出版　(3)『ＴＨＥ　ＢＵＲＧＥＲ　ＭＡＰ　首都圏版』1300円・幹書房　(4)『居場所を探して』1680円・長崎新聞社　(5)『カバヤ児童文庫の世界』903円・日本文教出版　(6)『つむじ風、ここにあります』1785円・書肆侃侃房　(7)『独白新選組』1260円・サンライズ出版　(8)『北海道いい旅研究室１４　ｂｏｏｋ３』690円・海豹舎　(9)『西丹沢登山詳細図　檜洞丸・大室山・畦ヶ丸・大野山全１２０コース』900円・吉備人出版　(10)『罠師　片桐邦雄』1680円・鉱脈社

以下ホームページ等でも各種情報提供を行なっております。ご利用ください。
ＵＲＬ：http://neil.chips.jp/chihosho/　　ツイッター公式アカウント：@local_small

トピックス ―― ★★★

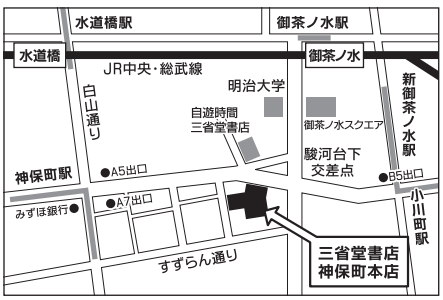
▼３月中に今号がお手元に届く方もいらっしゃるかと思いますが、４月からの消費税率変更に伴い、新刊ダイジェスト、ジャンル別新刊案内、および売行き良好書における価格表示が、今月号から税率８％込みのものとなりました。よろしくお願いいたします。他の単発コーナー等で本体価格のみの表示となる場合は、総額表示との混同を避けるために〈本体○○円＋税〉といった表記の仕方になります。ご注文いただく際に御留意いただけましたら幸いです。

▼ 第39回木村伊兵衛写真賞に、**森栄喜氏の写真集『intimacy』（ナナロク社刊）**が選ばれました。http://goo.gl/qEczQD 森栄喜氏は1976年石川県生まれ。パーソンズ美術大学写真学科卒。著書に『Crows and Pearls』（edition.nord，2009）や『tokyo boy alone』（レボリューション・スター・パブリッシング，台湾，2011）。授賞式は、４月17日に東京・丸の内の東京會舘で行なわれる予定です。また、受賞作品展が４月15日からコニカミノルタプラザにて開催されます。

郵便販売のご注文方法

◎お名前、お届け先（郵便番号、住所）、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までＦＡＸでご連絡ください。
◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせて頂きます。基本的にメール便は、一冊２１０円でお送り致します。（メール便の到着は、発送してから３～４日かかります。）お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合せ下さいませ。
◎なお書籍お買上総計（税抜き価格）が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせて頂きます。

★地方・小出版流通センター
ＦＡＸ：０３－３２３５－６１８２

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。

BOOKS SANSEIDO
三省堂書店
営業のごあんない
神保町本店 ４階
地方出版・小出版物フロア
営業時間　10：00 AM～8：00 PM
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
TEL. 03-3233-3312(代)
URL. http://www.books-sanseido.co.jp
本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。